
「アラーム疲労軽減のための多職種協働による改善策の策定、実施とその効果の検証」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの生体情報モニタ情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

埼玉医科大学総合医療センターの下記の対象病棟に2025年11月1日から2027年3月31日のうち研究者が選択した期間に入院し、生体情報モニタ装着を行った患者さんを対象としております。
対象病棟：2階東病棟、2階西病棟、5階東病棟、5階西病棟、8階東病棟、8階西病棟、並びに小児病棟の3階東病棟とNICU

2. 研究の目的

生体情報モニターで発生した警告とその対応に関して、患者さんの臨床症状との関係性を解析し、より適切に警報へ対応する方法を検討し実施します。その効果を検証することで患者さんのより安全な入院生活と医療スタッフの業務改善を目指します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年 3月 31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年11月06日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

※利用する情報は次のとおりです

（一般病棟）入院主病名、年齢、モニタ装着日数、人工呼吸管理の有無

（NICU）在胎週数、出生体重、日齢、修正週数、人工呼吸管理の有無、鎮静の有無

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である金井雅代が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

生体モニタ装着期間の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 小児科 金井雅代

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター

医療安全管理学/医療安全対策室 滝沢牧子

TEL : 049-228-3426（平日 10 時～15 時）

○研究課題名：「アラーム疲労軽減のための多職種協働による改善策の策定、実施とその効果の検証」

○研究代表者：埼玉医科大学総合医療センター 小児科 金井雅代